



お問い合わせ _____

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

Okinawa Convention & Visitors Bureau(OCVB)

〒901-0152

沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター2F

TEL:098-859-6123(代)

FAX:098-859-6221/098-859-6222



ENJOY! CRUISE OKINAWA

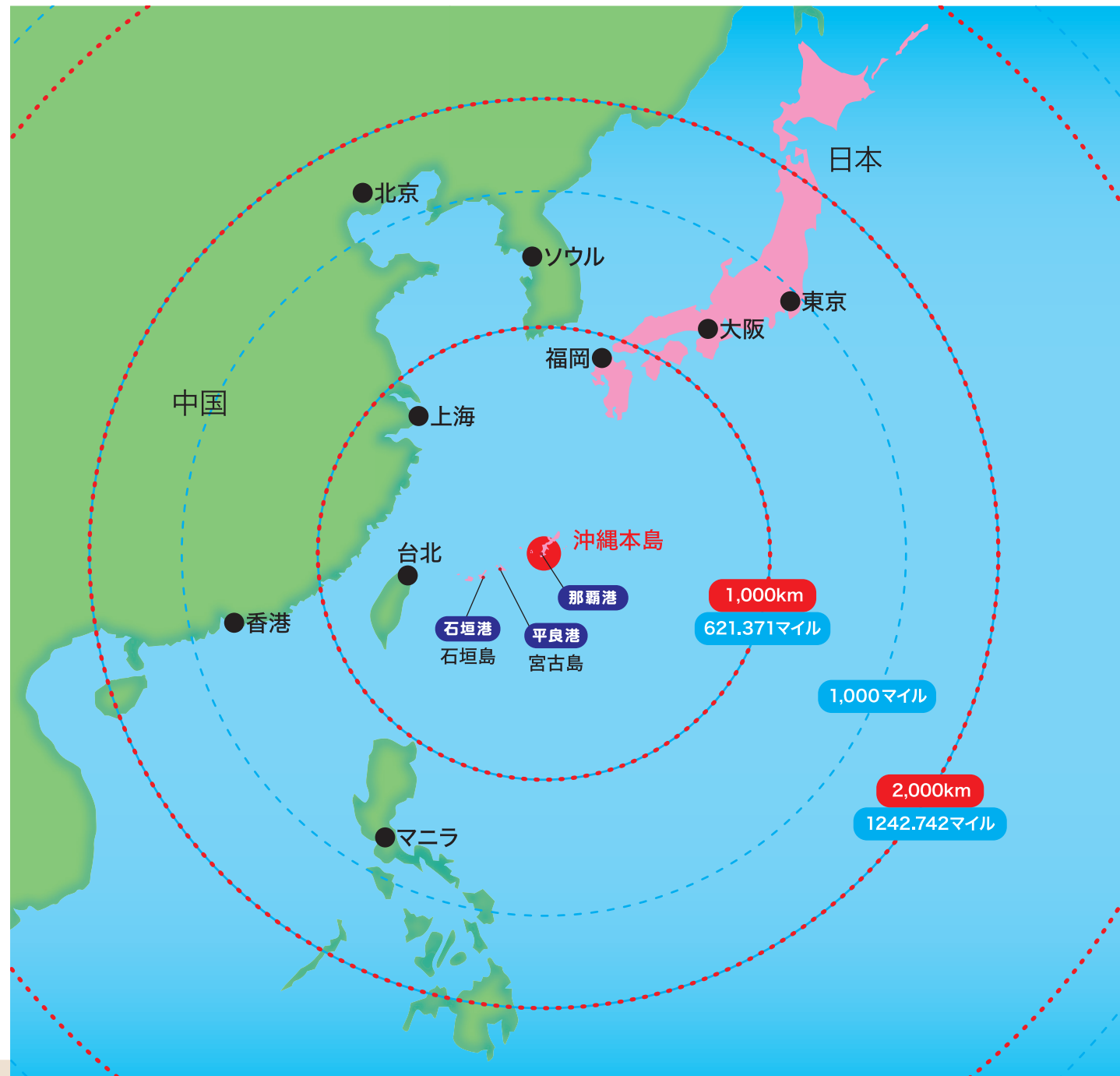


1. 沖縄がクルーズ船の寄港地として選ばれる3つの理由

沖縄県内へのクルーズ船の寄港回数は4年連続(2016年-2019年)で日本一となっており、県内全体の寄港回数が581回となった2019年には、那覇港が初めて全国で第1位となる260回の寄港回数を記録しました。沖縄県がクルーズ船の寄港地として選ばれる3つの理由を説明します。

選ばれる理由① 立地

沖縄県は、日本列島の九州から、台湾に連なる南西諸島の南半分、およそ北緯24度から28度、東経122度から132度に位置しており、距離にして東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域に散在する琉球諸島の160の島々から成っており、東アジアの中心に位置する地理的優位性があります。那覇クルーズターミナルから車で10分的那覇空港は、東アジアの主要都市から13便、東南アジアの都市から2便の直行便があり、国内線も充実しているため、沖縄の離島と近隣のアジア諸国を同時に周遊することも大きな魅力です。また、沖縄には複数の寄港地があり移動がしやすく、近い将来、国内外から1000万人を超える観光客が飛行機で訪れると推測される沖縄は、フライアンドクルーズの発着地としてふさわしい場所です。

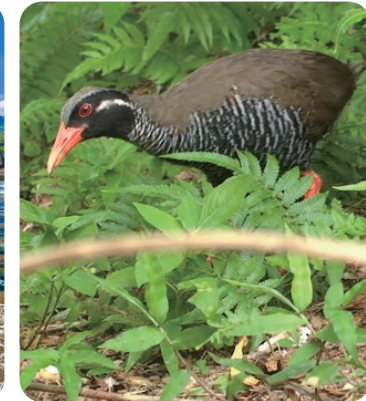


選ばれる理由② 豊かな自然

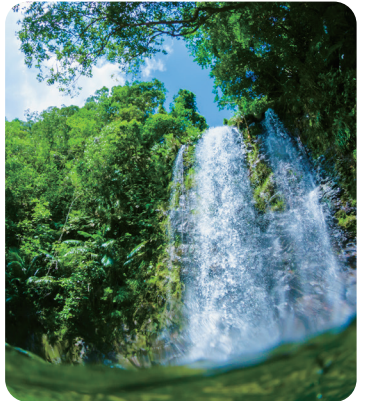
亜熱帯に属する沖縄では、1年を通じて寒暖差の小さい気候のもと、貴重な自然環境が育まれました。「美ら海」とも呼ばれる透明度の高い海では世界有数のサンゴ礁が育ち、それをすみかとする色とりどりの魚たちが群れ集います。国立公園に指定されているやんばる(沖縄島北部)や西表島には手つかずの原生林が広がり、国の天然記念物をはじめとする貴重な動植物が、太古からの命の営みを続けています。独自の進化を遂げてきた生き物も多いため、沖縄は「東洋のガラパゴス」ともいわれており、その自然は日本の大きな財産でもあります。こうした自然環境を満喫できるカヌーやトレッキング等のアクティビティは感動の体験となるでしょう。尚、2021年7月26日には、沖縄島北部及び西表島含む南西諸島に属する4地域が世界自然遺産に登録されました。



辺戸岬



国の天然記念物の
ヤンバルクイナ



クーラの滝(西表島)

選ばれる理由③ 特色のある文化

沖縄はかつて琉球という独立国でした。琉球王国は15世紀に始まって450年続き、この間、中国や日本、東南アジアなどと深い関わりを持ちながら発展を遂げました。その分野は美術・工芸から芸能・音楽、庶民の衣食住にまで至ります。第二次大戦後はアメリカの影響も大きく、タコライスといったグルメや、オキナワンロックと呼ばれる音楽などに文化の融合が見られます。一方では統一王朝成立以前から各地で城(グスク)や陵墓が築造され、歴史的・文化的遺産として世界的に高い評価を得ています。北は今帰仁城跡から南は斎場御嶽まで県内9つの遺産が世界遺産に登録されています。このように沖縄は日本本土とは違った歴史を刻みながらも、外来文化を巧みに取り入れて独自の文化を花開かせてきたのです。



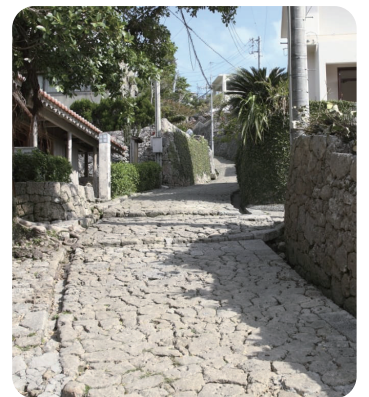
ハーリー



中城城址



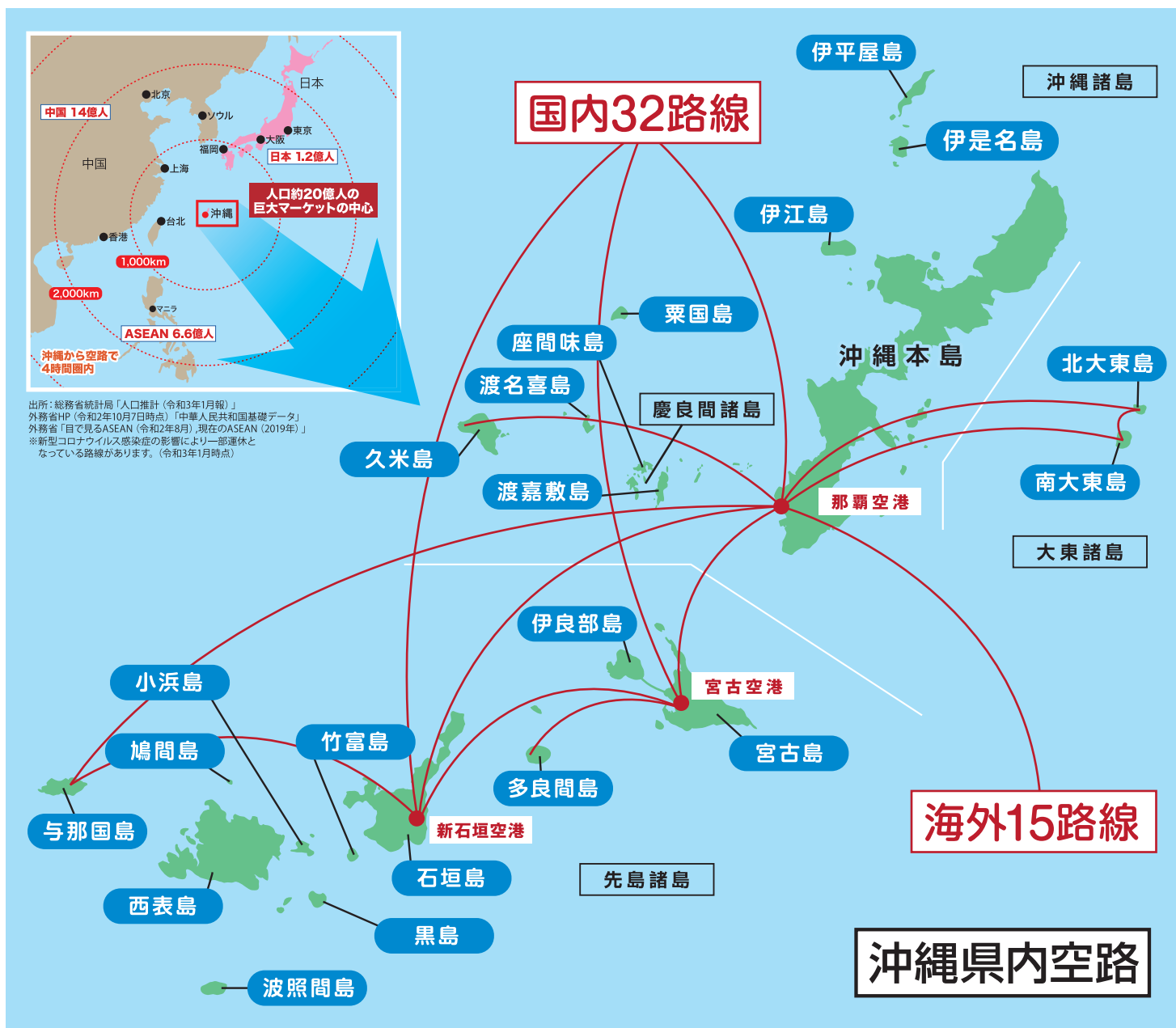
琉球王朝祭り首里



首里金城町石畳道

2. 沖縄県の概要

沖縄県は、日本の最南端の島嶼県で、沖縄諸島、先島諸島、尖閣諸島、大東諸島の大小160の島々（0.01km²以上）があり、そのうち有人島は47島あります。県土の総面積は、2,281.00km²（注1）で、日本国土総面積（377,975.24km²）の約0.6%となっており、香川県、大阪府、東京都の次に全国で4番目に小さい。日本国内有数の人気観光地である沖縄県への空路直行便は、国内32路線、海外15路線（2019年時点）あり、コロナ前の入域観光客数は1,016万3,900人（注2）、国内客723万3,900人、外国客は293万人となっており、観光産業が沖縄県のリーディング産業となっています。また、東アジアの真ん中、人口約20億人の巨大マーケットの中心に位置する地理的優位性がある沖縄県では、時代に即した新たなリーディング産業として「観光産業」、「情報通信関連産業」に次ぐ第三の柱を「国際物流拠点の形成」とする目標を掲げ、官民一体となって力を入れており、那覇空港を拠点とする国際物流ハブとして、国内及びアジアの最大13都市に貨物便が就航していました（2021年3月現在 海外貨物便は運休）。

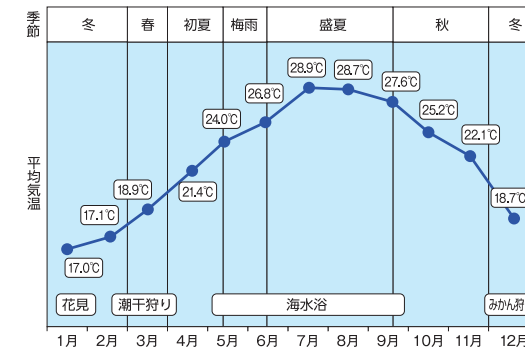


注1：2019年10月1日現在（国土交通省国土地理院）
注2：2019年1月から12月の期間

沖縄県の気候

亜熱帯海洋性気候にある沖縄県は、年平均気温は23.1度（注3）と1年を通じて温暖で、サンゴ礁の発達した海、イリオモテヤマネコやノグチゲラ等貴重な野生動植物が生息・生育するなど、世界的にも類まれな自然環境を有しています。

注3：1981年から2010年までの那覇における平均値



沖縄県の人口

沖縄県の人口は、年々増加しており、2021年12月1日現在146万8,983人（推計人口）となり、2015年の国勢調査人口143万3,566人から35,417人増加しています。日本はすでに人口減少社会に入っていますが、都道府県別の人口増加率（2010年から2015年まで）でみると、沖縄県は2.9%で全国で最も高くなっています。

総人口
1,468,983人

2021年12月1日現在推計
（令和2年国勢調査確報値に基づく推計人口）

沖縄県の産業

沖縄県の産業構造は、第1次産業は1.3%で、日本全国平均の1.0%を上回っています。第2次産業は17.9%で、全国平均の25.7%より7.8ポイント低いですが、内訳をみると製造業が4.3%と全国平均（20.3%）の4分の1以下であることに対して、建設業は13.5%と全国平均（5.4%）を大きく上回っているのが特徴です。そして、80%以上が第3次産業となっており、全国と比べてもサービス産業メインの産業構造となっており、中でも観光関連産業がリーディング産業となっています。

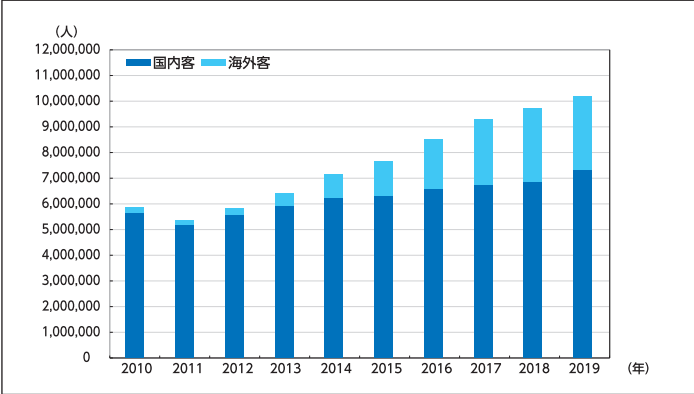


亜熱帯海洋性気候にあり豊かな自然に恵まれた沖縄県では、ゴーヤーやマンゴー等の沖縄らしい農産物、日本トップクラスの漁獲量を誇るマグロ、海外でも人気の和牛ブランドの石垣牛、良質な脂質がヘルシーであると評判の沖縄固有の在来豚アグー等、沖縄ならではの食材が豊富にあります。

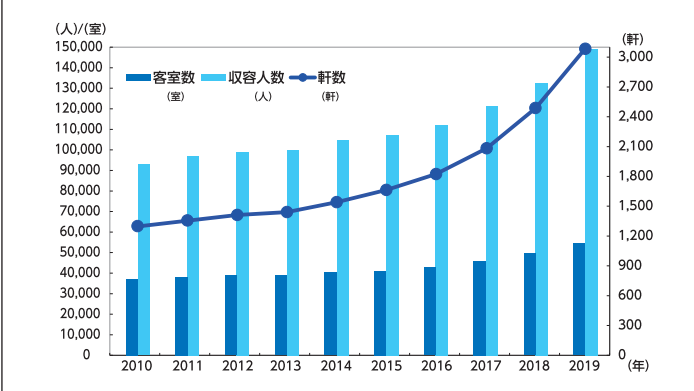
3. 沖縄県の観光概況

沖縄県の入域観光客数は1,016万3,900人、国内客723万3,900人、外国客は293万人となっており、観光産業が沖縄県のリーディング産業となっています。これまでに官民一体となって力を入れてきた、沖縄県の認知度向上PRや旅行意欲の喚起を図るプロモーション活動が功を奏し、離島直行便など国内航空路線の拡充及び海外航空路線の拡充、クルーズ船寄港回数が増加し、国内外からの入域観光客数は堅調に推移してきました。

入域観光客数の推移



宿泊施設等の推移



2019年現在の沖縄県にある宿泊施設数は、軒数3,084軒、客室数54,380室で収容人数は149,216人となっており、市町村別の軒数は、那覇市が446軒と最も多く、次いで石垣市333軒、本部町と宮古島市の285軒の順となっています。タイプ別でみると「ペンション貸別荘(注4)」が1,275軒と最も多く、次いで「民宿(注5)」が569軒、「ビジネス・宿泊特化型ホテル(注6)」が467軒となっています。もちろんラグジュアリークラスのリゾートホテル(注7)やシティーホテル(注8)も数多くあり、近年では、外資系ホテルの投資も活況を呈しており、世界的に有名なブランドホテルも数多く進出しています。

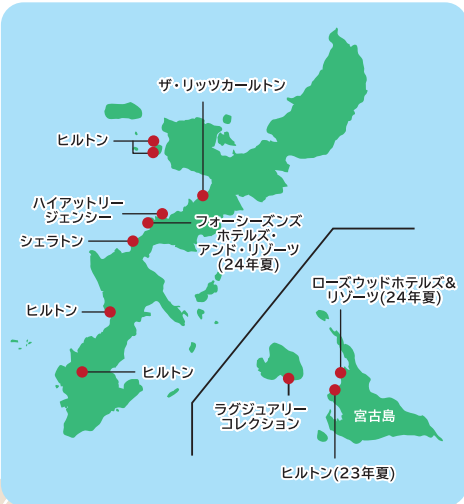
沖縄進出している外資系ホテル

2022年1月 現在営業中

- ・ザ・リッツカールトン ・ヒルトン ・シェラトン
- ・ハイアットリージェンシー ・ラグジュアリーコレクション

2023年以降 開業予定

- ・ヒルトン(23年夏)・フォーシーズンズホテルズ・アンド・リゾーツ(24年夏)
- ・ローズウッドホテルズ&リゾーツ(24年夏)



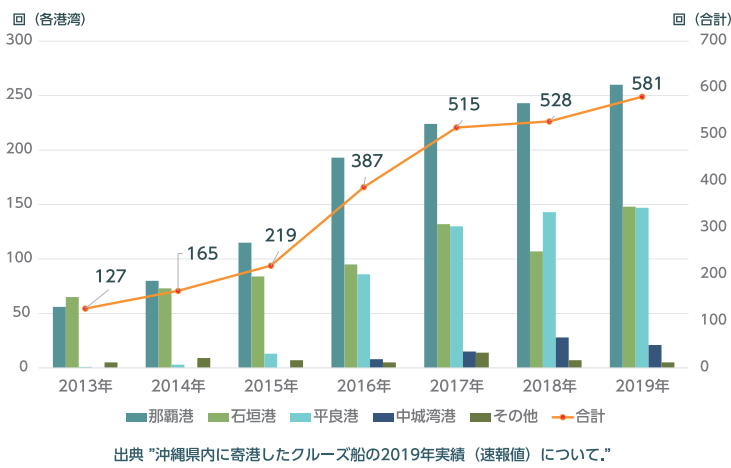
注4：洋室が主体の比較的規模が小さい施設。
 注5：バス・トイレが共用となっている和室が主体の比較的規模が小さい施設。
 注6：各室にバス・トイレ等を備えた洋室が主体の施設。宿泊機能を中心としたタイプのホテル。
 注7：各室にバス・トイレ等を備えた洋室が主体の施設。レストランや結婚式会場等の付帯施設を備えたレジャー型ホテル。主に本島中北部地域、離島地域に立地
 注8：各室にバス・トイレ等を備えた洋室が主体の施設。レストランや結婚式会場、宴会場等の付帯施設を備えた多機能・都市型ホテル。

4. 沖縄県のクルーズ状況

沖縄県は160の島々から成る島嶼県で、冬でも温暖な亜熱帯海洋性気候に属し、豊かな自然環境や特異な伝統文化を有する島々は、クルーズ船の寄港地として近年人気が高まっています。沖縄県内のクルーズ受入可能な港湾施設は、大型船受入可能な、那覇港、中城湾港、本部港、平良港、石垣港の5施設を中心に、慶良間諸島、久米島、西表島、与那国島、南大東島等には小型船受入地としての機能(予定含む)があり、それらの港を起点とするフライ&クルーズやアイランド・ホッピング・クルーズも定着化しています。



沖縄県内のクルーズ船寄港回数の推移



クルーズ船のカテゴリー別に寄港回数をみると、スタンダードクラスやプレミアムクラスは全国トップクラスの寄港回数を誇る一方で、ラグジュアリークラスの寄港回数が全体の約1.6%と低いことが課題として挙げられます。今後のクルーズ船市場の動向を鑑みますとカジュアルクラスの15万トン以上のメガシップと、小型のエクスペディション機能付きのラグジュアリークラスに、ニーズが二極化していますから、沖縄県は160の島々から成る島嶼県であること等を強みにして、エクスペディション船を含むラグジュアリークラスの誘致にも力を入れることを計画しています。

大型船受入可能港1～5、小型船受入地(実績・予定)1～5
 離島関係資料(平成29年1月) 第1 指定離島・島しょ・人口(2)ー(ア) 指定離島分布(54 島)

沖縄県内へのクルーズ船の寄港回数は4年連続(2016年-2019年)で日本一となっており、県内全体の寄港回数が581回となった2019年には、那覇港が初めて全国で第1位となる260回の寄港回数を記録しました。

5. 船社の皆さまのニーズにお応えするために

「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向けて

沖縄県は、東アジアの中心に位置する地理的優位性、豊かな自然、特色のある文化があり東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域に散在する大小160の島々には、島ごとに異なる魅力があります。また、沖縄に暮らす人々は、日本人のなかでも特にホスピタリティを感じると、同じ日本人からも好感を集める県民性があります。おかげさまで、船社の皆さまに沖縄を寄港地として選んで頂き、2019年には、那覇港に年間260回クルーズ船が寄港し、日本で1番の寄港回数を誇る港となりました。

これからも「世界水準の観光リゾート地」としてのブランド確立を目指し、「世界から選ばれる持続可能な観光地」の形成に向けて、国際クルーズ拠点及び県内港湾の着実な整備の推進はもとより、寄港地とのより強固な連携体制を構築し、環境に配慮したサステイナブルな観光開発に取り組めます。そして、沖縄に寄港する大切な乗船客の皆さまやクルーの皆さまの更なる満足度向上に繋げるために、質の高いクルーズ観光を展開して参ります。



■那覇第2バースをはじめ県内港湾整備のための投資

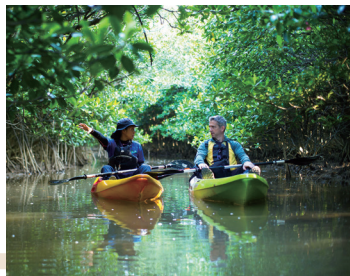
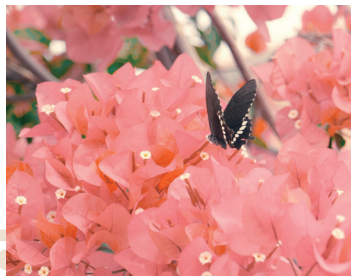
クルーの皆さまの満足度向上にも取り組み、休憩所等でのフリーWiFi環境の整備や寄港地の飲食店情報の提供等、細やかなサービス提供にも努めます。

■沖縄県クルーズ受入促進協議会

地域連携により、クルーズ船の受入に関する合意形成を図り、より安全・安心で盤石な受入体制の構築を推進します。

■沖縄ならではの良質な観光・ツーリズムの振興

クルーズ船のグレードやトンクラスに応じた、きめ細やかな誘致活動を推進し、県内の色々な地域の様々な魅力に触れて頂けるように、テンダーボート等で上陸可能な港湾・漁港等の情報提供、大切な乗船客の皆さまの更なる満足度向上に資するために、地元と連携した歓迎イベントの開催、沖縄ならではの高付加価値な観光コンテンツの開発等、環境に配慮した、サステイナブルで質の高いクルーズ観光を展開して参ります。



6. 沖縄県の湾港スペック

那覇港
(泊8号)



名称 若狭バース(泊8号)
位置・住所 沖縄県那覇市若狭1-28
電話番号 098-868-2582/那覇港湾管理組合

Berth Facility Information 岸壁施設情報

Name of Berth (岸壁名)	Tomari Wharf No. 8	The Length of Dock(m) (岸壁の長さ)	372.5m (including dolphin)
Berth Capacity (岸壁最大トン数)	up to 170,000GT class	Water Depth of Dock(m) (岸壁水深)	-9m
Turning Basin (回頭泊地)	Tomari Wharf No.8 west side only	Width of Dock(m) (岸壁の幅)	20m
Distance between Dock and Terminal (岸壁からターミナルまでの距離)	20m	Pilotage Facility (mile) (パイロット乗船範囲)	Request for pilotage service in Naha Port water area should be placed
Facility Status (施設状況)	Temporarily closed due to Covid-19	Maximum Width (入港可能な船幅の最大値) for Ship Entry	370m

那覇港
(第二クルーズ
バース)



名称 第二クルーズバース
位置・住所 沖縄県那覇市港町1-27
電話番号 098-868-2582/那覇港湾管理組合

Berth Facility Information 岸壁施設情報

Name of Berth (岸壁名)	Second Cruise Berth (Shinko Wharf No. 12-13) ※Under Construction	The Length of Dock(m) (岸壁の長さ)	430m (including dolphin)
Berth Capacity (岸壁最大トン数)	up to 220,000GT class	Water Depth of Dock(m) (岸壁水深)	-12m
Turning Basin (回頭泊地)	Shinko Wharf No.12-13 west side only	Width of Dock(m) (岸壁の幅)	30m
Distance between Dock and Terminal (岸壁からターミナルまでの距離)	TBA	Pilotage Facility(mile) (パイロット乗船範囲)	Request for pilotage service in Naha Port water area should be placed
Facility Status (施設状況)	N/A (scheduled year of commencement of operation:2022FY)	Maximum Width (入港可能な船幅の最大値) for Ship Entry	370m

中城湾港



名称 中城湾港
位置・住所 沖縄県沖縄市海邦町3-62
電話番号 098-938-7711
/沖縄県中部土木事務所 中城湾港分室

Berth Facility Information 岸壁施設情報

Name of Berth (岸壁名)	Nisifutou-13.0m Wharf	The Length of Dock(m) (岸壁の長さ)	260m
Berth Capacity (岸壁最大トン数)	-	Water Depth of Dock(m) (岸壁水深)	-13m
Turning Basin (回頭泊地)	512m	Width of Dock(m) (岸壁の幅)	30m
Distance between Dock and Terminal (岸壁からターミナルまでの距離)	-	Pilotage Facility (mile) (パイロット乗船範囲)	-
Facility Status (施設状況)	-	Maximum Width (入港可能な船幅の最大値) for Ship Entry	-

本部港

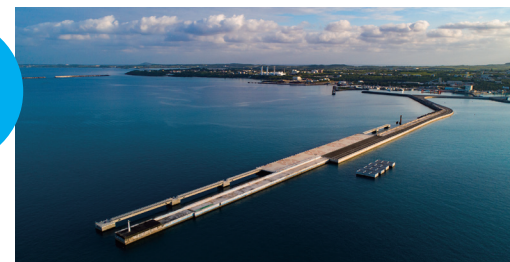


名称 本部港
位置・住所 沖縄県国頭郡本部町崎本部
電話番号 098-866-2395/土木建築部 港湾課

Berth Facility Information 岸壁施設情報

Name of Berth (岸壁名)	-10.5m Wharf ※Under Construction	The Length of Dock(m) (岸壁の長さ)	420m
Berth Capacity (岸壁最大トン数)	-	Water Depth of Dock(m) (岸壁水深)	-10.5m
Turning Basin (回頭泊地)	560m	Width of Dock(m) (岸壁の幅)	32.5m
Distance between Dock and Terminal (岸壁からターミナルまでの距離)	-	Pilotage Facility(mile) (パイロット乗船範囲)	-
Facility Status (施設状況)	-	Maximum Width (入港可能な船幅の最大値) for Ship Entry	-

平良港



名称 平良港
位置・住所 沖縄県宮古島市平良
電話番号 0980-72-4673

Berth Facility Information 岸壁施設情報

Name of Berth (岸壁名)	Hirara Port Cruise Pier	The Length of Dock(m) (岸壁の長さ)	420m
Berth Capacity (岸壁最大トン数)	220,000 GT class	Water Depth of Dock(m) (岸壁水深)	-10.5m
Turning Basin (回頭泊地)	720m	Width of Dock(m) (岸壁の幅)	20m
Distance between Dock and Terminal (岸壁からターミナルまでの距離)	約1.0km	Pilotage Facility (mile) (パイロット乗船範囲)	-
Facility Status (施設状況)	-	Maximum Width (入港可能な船幅の最大値) for Ship Entry	-

石垣港



名称 石垣港
位置・住所 沖縄県石垣市南ぬ浜
電話番号 0980-82-4046
/石垣市役所 建設部港湾課

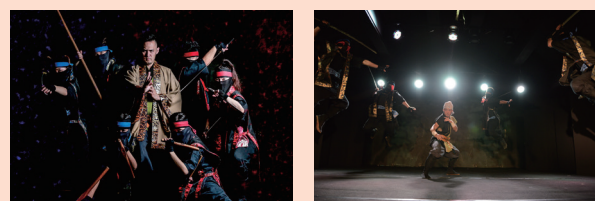
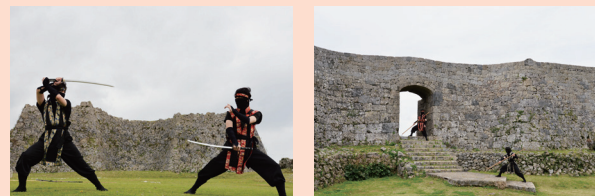
Berth Facility Information 岸壁施設情報

Name of Berth (岸壁名)	-10.5m Wharf In Shinkou International District on Port of Ishigaki	The Length of Dock(m) (岸壁の長さ)	420m
Berth Capacity (岸壁最大トン数)	22万t	Water Depth of Dock(m) (岸壁水深)	-10.5m
Turning Basin (回頭泊地)	588m	Width of Dock(m) (岸壁の幅)	20m
Distance between Dock and Terminal (岸壁からターミナルまでの距離)	-	Pilotage Facility(mile) (パイロット乗船範囲)	-
Facility Status (施設状況)	-	Maximum Width (入港可能な船幅の最大値) for Ship Entry	-

7. モデルコース

中城湾港エリア「沖縄にも実在した！？ 琉球忍者と世界遺産」

ナゾ多き琉球忍者と中城城跡で琉球ロマンを体感。芸術から沖縄の歴史を辿り、沖縄発の発酵食に触れる旅



琉球王国時代、歴史の裏で暗躍したといわれる集団「琉球忍者」のショーを世界遺産の中城城跡で観覧。沖縄の伝説をノンバーバル（非言語）で演じる演劇と、沖縄発祥の空手、古武道を取り入れたアクロバティックなアクションが見どころだ。数多くの海外公演を積んだプロの役者による迫力のアクションは必見！観覧者が手裏剣などの武器を使い忍者体験できるのもポイント。

順路

- 10:00 中城湾港出発（タクシー移動約20分）
- 10:20 中城城跡/琉球忍者ショー&忍者体験（所要時間約2時間+タクシー移動約10分）
- 12:30 暮らしの発酵ライフスタイルリゾート（所要時間約2時間+タクシー移動約15分）
- 14:45 佐喜真美術館（所要時間約1時間+タクシー移動約25分）
- 16:10 中城湾港到着



暮らしの発酵 ライフスタイルリゾート

沖縄で開発されたEM（有用微生物群）による発酵を活用し、ウェルネスを提供するホテル。ランチbuffetでは発酵の力で素材の味を活かした和洋中の料理を堪能。



佐喜真美術館

「生と死」、「苦悩と救済」、「人間と戦争」がテーマの美術館。丸木位里・俊が描いた「沖縄戦の図」を常設展示し、平和への祈りを訴え続ける。

本部港エリア「ブルーゾーン！ 長寿の秘密と厳選やんばるハルサー野菜をめぐる」

世界自然遺産の沖縄本島北部地域「やんばる」が育んだ地産食材の恵みを味わい、豊かな食文化を体験

順路

- 10:30 本部港出発（タクシー移動約45分）
- 11:15 on the farm（所要時間約2時間+タクシー移動約10分）
- 13:25 大宜見シークワサーパーク（所要時間約90分+タクシー移動約50分）
- 15:45 本部港着

〈on the farm／やんばる食材を駆使した有名シェフの出張ランチ〉



農業を営む芳野幸雄さんが、ハルサー（畑人）と料理人、食べる人がつながるプラットフォームのような空間を目指し、2021年夏に開店したポップアップレストラン。やんばるを愛する県内外の料理人が、ハルサーが育てた愛情あふれる島野菜を使って料理を提供。やんばるだからこそ出会える特別な食体験を。

〈大宜味シークワサーパーク／大宜味村の特産果実を使った極上スイーツ〉



大宜味村の特産品シークワサーの魅力を発信する施設。工場見学をしながら、健康によいとされるノビレチンを多く含むことなど、その特徴について学べる。苦みの変化を知る収穫月ごとの味比べや、蛇口からジュース飲み放題の設備、お土産販売も。カフェではシークワサー使用のスイーツを堪能できる。自社農園に地元のご長寿を招いてお話を聞いたり、時季によっては果実の収穫体験も可能。（要事前調整）

慶良間諸島エリア

「ミシュラン・グリーンガイド二つ星！ ケラマブルーと琉球イノベーティブ料理」

抜群の透明度を誇る美しい海「ケラマブルー」を満喫後、旬の沖縄食材を使用した独創的な料理に舌鼓！

順路

- 10:30 座間味港出発/ダイビングorシュノーケリング
ケラマブルーを堪能
（所要時間約3時間+徒歩移動約5分）
- 13:35 KANUSUBA
（所要時間約2時間+徒歩移動約5分）
- 15:40 座間味港着

〈Drifter／世界に誇る海で多彩なマリナクティビティを体験〉



カヤック、SUPで無人島を巡ったり、熱帯魚やサンゴと出会うシュノーケリングやダイビング。「世界が恋する海」と称される慶良間の海で感動的な体験を。

〈KANUSUBA ZAMAMI／こだわりの地産食材で新感覚の琉球料理&BBQ〉



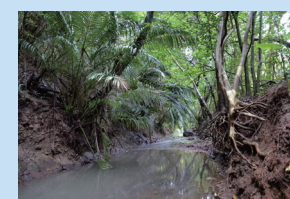
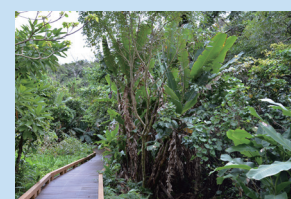
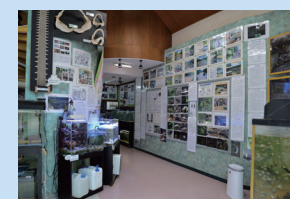
沖縄の個性豊かな食材をシェフ渾身の調理法によりコースで提供。県産ブランドの山城牛、アグー豚や、獲れたての鮮魚、夜光貝などを味わえるBBQも。

久米島「球美の島のホタルと養殖の美味に出会うサスティナブルな旅」

琉球一美しい島と称された「球美の島」で、水と緑が育む豊かな生態系を知り、海洋深層水の恵みを味わう

順路

- 10:00 兼城港出発（タクシー移動約5分）
- 10:05 久米島ホテル館（所要時間約3時間+タクシー移動約5分）
- 13:10 ゆくい処 笑島（所要時間約1時間+タクシー移動約15分）
- 14:25 養殖海ぶどう（所要時間約1時間+タクシー移動約20分）
- 15:45 兼城港到着



久米島ホテル館で学び、 周辺散策で島の豊かな生態系を体感

沖縄県指定天然記念物クメジマボタルの保護保全に取り組む施設。幼虫時、水中生活するクメジマボタルが川から姿を消したのが約20年前。その後、赤土の堆積に悩む川の清掃を始め、約千匹が棲む川へと再生復活させた。ツアーでは、ホテルが棲める環境を取り戻した周辺を歩き、豊かな生態系を実体感する。



ゆくい処 笑島

希少な脱皮したての養殖車海老を使った「やわら車海老そば」を提供。濃厚なスープに絡む太麺、皮ごと頭から豪快に食べる車海老の食感、旨味は唯一無二！



養殖海ぶどう

日本で唯一、海洋深層水を使って海ぶどうを養殖する施設。美しく並ぶ小粒、プチプチ弾ける新鮮な食感、コク深い海の風味を堪能できるA級品のみを販売。

7. モデルコース

西表島

海川森の息吹を間近で感じるツアーで、世界自然遺産に登録された西表島の雄大な自然に魅せられる旅

コース
A

シラハマコイナ監修
「伝説のサバニで行く
秘密の場所のBBQツアー」

順路

9:00 白浜港出発
(所要時間約6時間)

15:00 白浜港到着
*実際のツアー時間や内容は要調整



島の西側に位置する白浜では、かつて伝統的な木造船サバニで漁に出ていた歴史から、年に一度サバニで競走する伝統行事「海神祭」が行われている。ツアーではそのサバニに乗り込み、皆でかけ声を合わせカイを漕ぎ、海をめぐる。海人ロマンを堪能した後は、船でしか辿り着けない秘密のスポットで猪肉や石垣牛などのBBQを楽しもう。

コース
B

オハナアウトフィッターズ監修
「自然を保全しながら楽しみ遊ぶ
エシカルツアー」

順路

9:00 上原港出発
(所要時間約7時間)

16:00 上原港到着
*実際のツアー時間や内容は要調整



日々姿を変える自然に合わせて最高の景色が見える安心安全なコースを選びながら、少人数制で自然体験ができるガイドツアー。島で最も守られた美しいフィールドとして世界自然遺産のシンボルともいわれる「ピナイサーラの滝」は、滝上から眺める絶景に感動。自然を思いやり楽しく遊ぶエシカルな旅で、西表島の真髄を堪能できる。

与那国島「世界最大級の蛾が棲む絶海の孤島で“島の郷土”に迫る」

台湾までわずか110km! 日本最西端、国境の島で育まれた特異な文化、生態系、芸能と出会う

順路

10:00 祖納港出発 (タクシー移動約10分)

10:10 アヤミハビル館
(所要時間約1時間+徒歩移動約3分)

11:13 国泉泡盛
(所要時間約1時間+タクシー移動約10分)

12:23 与那国空港レストラン旅果報
(所要時間約1時間+タクシー移動約7分)

13:30 よなは民具
(所要時間約2時間+徒歩移動約5分)

15:35 祖納港到着



アヤミハビル館
与那国島に生息する「アヤミハビル(ヨナグニサン)」は最大体長24cmでモスラのモデル説もある世界最大級の蛾。その生態を詳しく学べる貴重な施設。



国泉泡盛合名会社
日本で与那国島でのみ製造、販売されているアルコール度数60度の「花酒」を作り続けている老舗酒造所。工場見学や看板商品「どなん」の購入が可能。



空港レストラン旅果報
長命草を練りこんだそば、クシティ(バクチャー)サラダなど、島の特産食材を使った美味がずらり。季節によって食べられるカジキ漬け丼も絶品!



よなは民具
與那覇有羽・桂子夫妻が島に群生するクバの葉などを使い、手作りで仕上げた民具を販売。ワークショップや島の唄を披露するライブを開催することも。

那覇港発ファミリーコース

子どもも楽しめるバギー体験から、大人も嬉しい道の駅での買い物まで、家族みんなで楽しめる那覇の魅力をご紹介します。

順路

9:30 那覇港出発 (タクシー移動約35分)

10:05 ガジュマルンチャー
(所要時間約1~1時間半+タクシー移動約20分)

12:10 MAJUN OKINAWA 糸満店
(所要時間約30分+徒歩約5分)

12:45 糸満漁民食堂
(所要時間約50分+徒歩約5分)

13:35 道の駅 いとまん
(所要時間約1時間+タクシー移動約25分)

15:00 那覇港到着



4歳以上のお子様も大歓迎! 亜熱帯のジャングルをバギーで駆け抜ける迫力満点の体験と、多幸の樹「巨大ガジュマル」を見学。大自然の中を家族で爽快に楽しみながらガジュマルから幸せパワーをもらいましょう。



沖縄の風土や文化を表現したような柄が魅力のかりゆしウェア。専門店ではサイズが豊富で、お揃いの購入にも対応しています。沖縄の旅はぜひオキナワリゾートスタイルで!



ウミンチュ(漁師)の町「糸満」で味わう美味しい魚料理。こちらのお店には新鮮な島の魚を使った豊富なメニューが揃っています。豊かな美ら海で育った島魚を使った絶品料理にみんなで舌鼓を。



「道の駅ランキング」で全国1位になったこともある日本最南端の道の駅。沖縄ならではの食材から、それを使った料理やスイーツ、お土産品まで豊富に取り揃えており、お買い物やグルメを心行くまで楽しめます。

平良港発ファミリーコース

伝統漁船のクルージングから、家族みんなで楽しめる温泉まで、子どもから大人まで楽しめるスポットの数々をご紹介します。

順路

9:00 平良港出発 (タクシー移動約15分)

9:10 伊良部大橋
(所要時間約10分+タクシー移動約10分)

9:30 蟹蔵/サバニクルージング
(所要時間約1時間+タクシー移動約10分)

10:40 いらぶ大橋 海の駅
(所要時間約40分+タクシー移動約25分)

11:45 しろう農園
(所要時間約40分+タクシー移動約5分)

13:00 シギラリゾート/黄金温泉
(所要時間約1時間半+タクシー移動約30分)

15:00 平良港到着



宮古島と伊良部島を結ぶ全長約3.5Kmの橋を爽快にドライブ。無料で渡れる橋としては日本最長です。海の見事で定評のある宮古島でも、ここは別格。360度広がる海の絶景にお子様も夢中になることでしょう。



島伝統の漁船「帆掛けサバニ」に乗って、イラブブルーの海を眺めながら家族だけの優雅なクルージング。どこまでも続く透明な海にうっとり。大自然と一体になれるような感覚を味わえます。



2020年オープンの伊良部大橋を見晴らすワイドビューが見事な海の駅。海と橋が織りなす雄大な景色を満喫しながら、親子一緒にお土産選び。伊良部名物のなまり節やうづまきパンなど数多くの特産品を取り揃えています。



大人も子どもも楽しめる日本最大級の面積を誇るアロエバ農園。健康・美容・治療に効果があるとされるアロエバのドリンクや料理を堪能し、そのパワーを取り込みましょう。ヤギとの触れ合いもできるので、心も癒えていくといいですね。



宮古島屈指のリゾートホテル「シギラセブンマイルズリゾート」にあるカフェでランチをした後は、施設内の黄金温泉で旅の疲れを癒しましょう。露天・展望風呂とは別に、プールや寝湯、洞窟湯などの男女兼用エリア(水着着用)もあるので、家族三代みんなで楽しめます。

8. クルーズ船乗客の受入事例

■久米島町

久米島町のクルーズ船受け入れとしては、日本人のお客様が「にっぽん丸」で来島された際の実績があります。久米島町役場商工観光課、観光協会、商工会が連携し、ご当地キャラクターによるお迎えや、三線ライブなどのセレモニーを開催。クルーズのお客様には、久米島周遊半日・1日観光、「はての浜」上陸ツアー、タクシープランなどを船社が用意しました。船社のオプションツアーに参加されないフリー観光のお客様に向けては、シャトルバスの運行や、船乗降地での特産品物販を実施したほか、今後は、外国人のお客様が乗船する国際クルーズの受け入れを実施予定。船社と連携して実現に向け企画を進めています。外国人のお客様に島の文化を体験いただくプランや、島の地産食材を使用した特別な料理の提供など、久米島の魅力に触れて頂けるイベントを計画中。近隣の離島とも連携を試みながら、海外小型船ラグジュアリークルーズやエクスペディション・クルーズなどの外国船をお迎えできるプラン作りに尽力していきます。



■中城湾港エリア

中城湾港エリアでは、中部広域市町村圏事務組合を中心に、中部地域9市町村の観光協会が協力して、外国船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」を受け入れた実績があります。中国、香港からのお客様を中心に、世界60カ国の乗客者が来島しました。港では、歓迎セレモニーを行い、沖縄料理などを振舞ったほか、英語、中国語（繁体字、簡体字）の資料を用意し、特別ブースを設置して観光案内を実施。当時、海外の言語を通訳できる職員が4名いたため、スムーズにおもてなしをすることができました。近年、他港に入港できない場合の保険として本エリアを予約している傾向があり、直前で寄港地を他港へ変更されるケースが多いため、今後はより多くのお客様が寄港していただけるよう、中城港湾エリアの魅力ポイントをアピールしていく対策を考えています。

■南大東村観光協会

南大東村では「にっぽん丸」の受入実績があります。沖に停泊したクルーズ船からテンダーボートで来島されるお客様を、港からメイン会場であるふるさと広場まで、大型バスやマイクロバスでピストン輸送をしました。メイン会場では南大東村の伝統芸能を、地元の中学生民謡歌手グループである“ボロジノ娘”が披露、その他にも内里美香、太鼓の葵会など地元の名手達による演目に加え、マグロ解体ショーも行いました。その他に、名物料理である“大東寿司”、“大東そば”の振る舞い、特産品の“大東羊羹”、“大東まんじゅう”などの販売に加え、大東島産さとうきびを原材料にしたラム酒“コルコル”の販売も致しました。メイン会場以外には、星野洞や大池ヒルギ群落などの島内観光スポットをご案内しました。今後は、小さな村なので、地元住民の理解を得ながら、無理のない受入方法について協議していきたいと考えています。

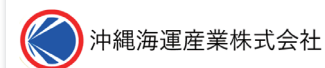
9. パートナー企業のご紹介

船舶代理店



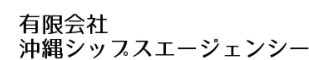
沖縄港運株式会社

沖縄県那覇市西2丁目1番1号
TEL:098-868-4151
FAX:098-868-8460
<http://okinawa-koun.com>



沖縄海運株式会社

沖縄県うるま市与那城平宮1番地
TEL:098-977-7733
FAX:098-977-7220
<https://www.rkkline.co.jp>



有限会社 沖縄シッpsエージェンシー

沖縄県那覇市通堂町2-1
那覇港ターミナル2階
TEL:098-866-7890
FAX:098-866-7096
<http://okiships.co.jp>



三桂有限会社

沖縄県石垣市浜崎町2-3-2番地
大洋開発ビル2F
TEL:0980-83-3413
FAX:0980-83-4189
<https://www.3kos.com>



株式会社OTK

沖縄県那覇市港町2-16-1
TEL:098-862-0025
FAX:098-861-1900
<http://www.k-otk.co.jp>



南石開発船舶代理店

沖縄県西原町字小那覇1498番地
TEL:098-945-4800
FAX:098-946-3822
<https://www.nsk-kaihatsu.com/船舶代理店/>

ランドオペレーター



株式会社嘉翔ツーリズム

沖縄県那覇市安謝二丁目4番7号 モリビル2F
TEL:098-975-5177
FAX:098-975-5170
<https://www.kashoo.co.jp>



株式会社JTB沖縄

沖縄県那覇市旭町112番地1
TEL:098-861-4040
FAX:098-869-3424
<https://jtb-okinawa.co.jp>



沖縄ツーリスト株式会社

沖縄県那覇市松尾1丁目2番3号
TEL:098-862-1111
FAX:098-862-1120
<https://otspremium.com/aboutus/outline/>



有限会社 沖縄ツアーセンター

沖縄県那覇市鏡原町8-11
TEL:098-859-7477
FAX:098-859-7488
<http://okitc.com>



株式会社 HANS ADVENTURE

沖縄県那覇市久茂地2-15-3
嘉栄産業ビル2階
TEL:098-869-5233
/098-869-5244
FAX:098-869-5230
<http://www.hansadv.com>



株式会社ジャンボツアーズ

沖縄県那覇市久茂地2-15-10
久茂地BKビル
TEL:098-867-0007(代)
FAX:098-869-8185
<https://www.jumbotours.co.jp>